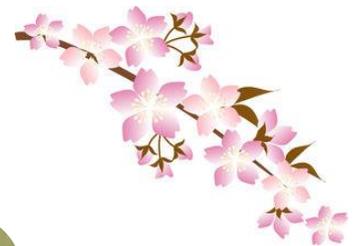




学校だより

○ 4年生、晴れやかに巣立つ

去る3月1日、14名の4年生が名取高校定時制課程を卒業しました。仕事と学校の両立に4年間頑張り通した者、失敗や遠回りをしながらも時間をかけて着実にたくましく成長した者、地元を離れ自分の力で社会へと羽ばたく者、勉強や自分探しを続ける者、これまでの歩み・これからの歩みは、まさに一人一人それぞれです。在校生・教職員一同、卒業生の皆さんの前途に幸多かれとお祈りし、また御活躍（と再会）を楽しみにしています。



○ 御挨拶 …退職・転出する職員より…

出会いと別れの季節、4年生の卒業に続き、今年も何名かの職員が本校を離れることになりました。紙幅の都合でほんの一言ずつではありますが、生徒諸君や保護者の皆様への感謝と期待のメッセージをお届けします。

中村 正則（退職）

「名取高校のこと」

名取高校では十二年間過ごしたことになります。全日制で六年間、定時制で六年間の合計十二年間です。その間、十二年間は仙台の定時制高校にいました。

仙台の定時制高校が閉校になり、再び名取高校に赴任することが決まり、そこに不思議な縁を感じました。

何名かの当時の全日の生徒に声をかけられたこともありました。岩沼市内の買い物客や定時制の講師の先生、入学式に出席した父兄など思いがけない形での出会いでした。

担任をしていたとか顧問をしていたとか授業をしていたという訳でもないのによく覚えていてくれたと感謝しています。こちらは余り変わらないのに生徒は大きく変わるものだと感心もしました。

十二年間を過ごした校舎がなくなり、それと同時に去ることになるのもまた不思議な縁のような気がします。

阿部 かおり（登米総合産業高等学校へ）

「継続は力なり」

「継続は力なり」と言うのは簡単ですが、たとえば自分でやりたいという意味があったことだとしても継続するのは難しいことだと思います。女性がよくしているであろう(?)ダイエットなんかは正にそうではないでしょうか。毎日運動する、毎日野菜を350g食べる、間食しない。そんなことなかなか継続できません。少なくとも私にはかなり難しいことです。

そこで私は「継続したら、いつの間にかすごいことになっちゃった。やったね!」くらいの解釈で捉えるようにしています。まずは、毎日始業時刻の5分前に学校に来る、毎

日笑顔で挨拶をする、毎日靴をそろえるとか、自分のできる範囲で、無理のないところでやってみる。きっと「いつの間にかすごいことになっちゃった」「なんだかいいことあった」ということになるかもしれません。ぜひ試してみてください。

それでは、お元気で。

西塚 淳子（退職）

「かけがえのないもの」

名取高校定時制に4年間お世話になりました。定年のため3月をもって退職します。

先日の卒業式の4年生代表の答辞に「アルバイトと学校の両立が、大変だった。苦しくて、辞めたくなることが沢山あった。」とありました。皆さんにも同じ思いの人もいるでしょう。また、昼間、弟妹などの世話や家事を手伝っている人、ご家族に病気や介護が必要な方がいて、心遣いをしている人もいるでしょう。先輩の中には、病気を抱えて時々不安になる人もいました。一人ひとり状況は違いますが、やる気が出ないとき、苦しい事も何度もあることでしょう。

そんな時、一人で我慢したり悩まないで、友達に話を聞いてもらったり、友達の話を聞いてあげられる人になってください。また、先生方もいつでもお話を聞いてくれますから、遠慮なく「先生、話をしたいです」と声をかけてください。

学校の授業や行事は、面倒なものが沢山あります。それを、毎日毎日、積み重ねて4年間かけてたどり着く「卒業」は、かけがえのないものです。皆さんを応援していますので「卒業」をめざしてくださいね。そのために、健康に気を付けて欲しいです。

一つだけ心残りは「定時制の教室と保健室」がある新校舎に皆さんと一緒に引っ越しを

して、過ごしたかったです。

約40年の教員生活の中で、この4年間で一番印象深く、皆さんと過ごせたことが私にとってかけがえのないものとなりました。退職しても、名取高校定時制のことは大好きですし、皆さんを応援しています。4年間、本当にありがとうございました。

青山 和雄（退職）

「人と」

縁あって、非常勤講師として教壇（実際にはありませんが）に立つことになりました。そして、かつてと同様に教材研究に苦悶しながら、どうして引き受けてしまったのだろうと、後悔の日々が続きました。しかしながら、諸先生が生徒に真摯に接し、導く姿を拝見して、励まされていたのは、生徒ではなく、実は私だったのです。また、そのような諸先生の姿は、教員だった私に、遅すぎた反省を迫ることも多々ありました。

この紙面をお借りして、諸先生に感謝申し上げますと同時に、私の拙い授業に付き合ってくれた生徒にも感謝申し上げます。

西山 大樹（退職）

「人との関わりを通じた成長」

2年間、名取高校定時制で皆さんと少ない時間ではありますが過ごしてきたこととして、人との関わり方について、とてもいい経験をしたと思っています。人は一人では生きていけない生き物です。皆さんは友人と関わりながら、学校生活を送っていると思います。ただ、中にはぶつかる人、関わりの少

ない人、性格があまり合わない人などもあると思います。そんな人達でもクラスメイトであり、共に生活しなくてはなりません。これは学校生活だけでなく、社会に出ても同じです。学校は社会に出るための勉強をするところでもあります。仲のいい人でなく、その他の人との付き合い方をしっかり学んでほしいと思います。そのことによって皆さんの人間性や性格というものは著しくいいものになると思っています。人とのつながりの大切さが分かる、立派な人になることを願っています。2年間ありがとうございました。

安達 司（本校全日制課程へ）

「『銭』として」

私は皆さんと同じくらいの年齢で、東日本大震災を経験しました。多くの友人が犠牲となり、代わりに残ったのはなにもできなかったことへの無力感だけです。それまでは、「どんな時も前を向いて頑張る」という言葉をモットーに生きてきましたが、生まれて初めて「前を向く」ということが難しく思えました。そんな時、助けてくれたのは友人です。

皆さんのこれからの人生は楽しいことより「苦しいこと」、「しんどいこと」の方が圧倒的に多いです。そんな時は横をみてください。同じ歩幅で歩いてくれる人がいます。「迷ったとき」、「悩んだとき」は後ろを見てください。きっと背中を押してくれる人がいるはずです。そして、みんなで前を向けば怖くありません。皆さんは一人ではありません。少なくとも私は皆さんの味方です。

○ 新校舎での学校生活がスタートします！

2月上旬から少しずつ移転作業を進めておりますが、事務室は3月24日（土）に、その他の各室も3月29日（木）までに移転を完了する予定です。3月23日（金）の修了式・離任式以降、旧校舎への立入ができなくなることで、また、短時間ながら学校の電話がつかない時間が発生することにつき、御了承願います。

生徒の皆さん、**4月9日（月）**は間違えずに**新校舎へ！**

